

筑西市「道の駅」のコンセプト（案）

「道の駅」のトレンド

道の駅とは
【国交省】

「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」

地域活性化の
成功事例

“地域の魅力づくり” “市民の元気づくり” を主体的に行った地域
「フレッシュパークからり」「東山道伊王野」「馬路村」「おやき村」
⇒住民が地域の魅力を掘り起し、造り、磨きをかけ、
生まれた地域の活力が魅力となり、多くの観光客を惹きつける。

人気の高い
道の駅の特徴

様々な楽しみ方があり、長時間滞在できる「滞在型」の施設が人気。

遊具

体験メニュー

食事充実

オリジナル商品充実

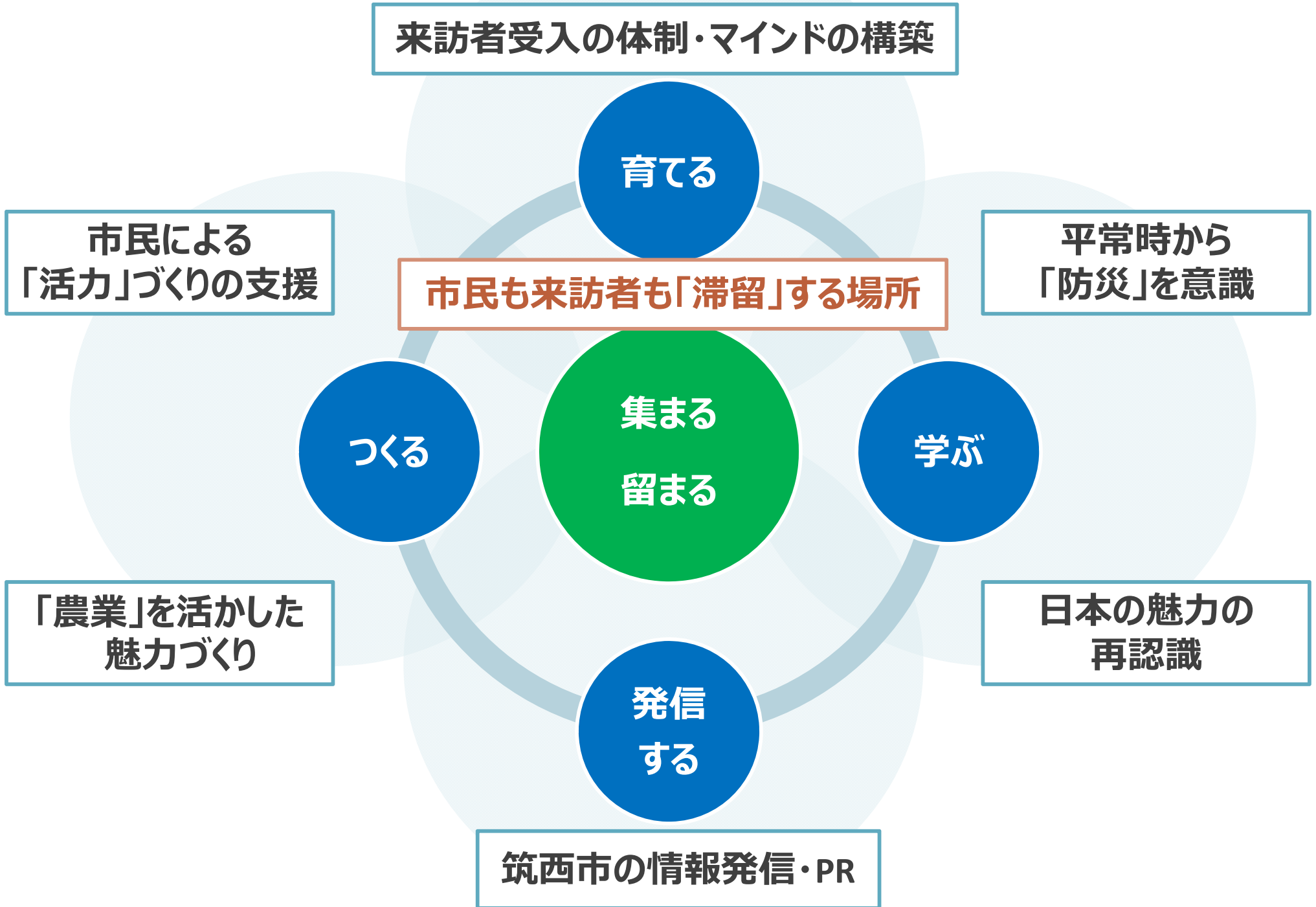
リラックス機能（足湯、景観、温泉）

地域コミュニティ施設

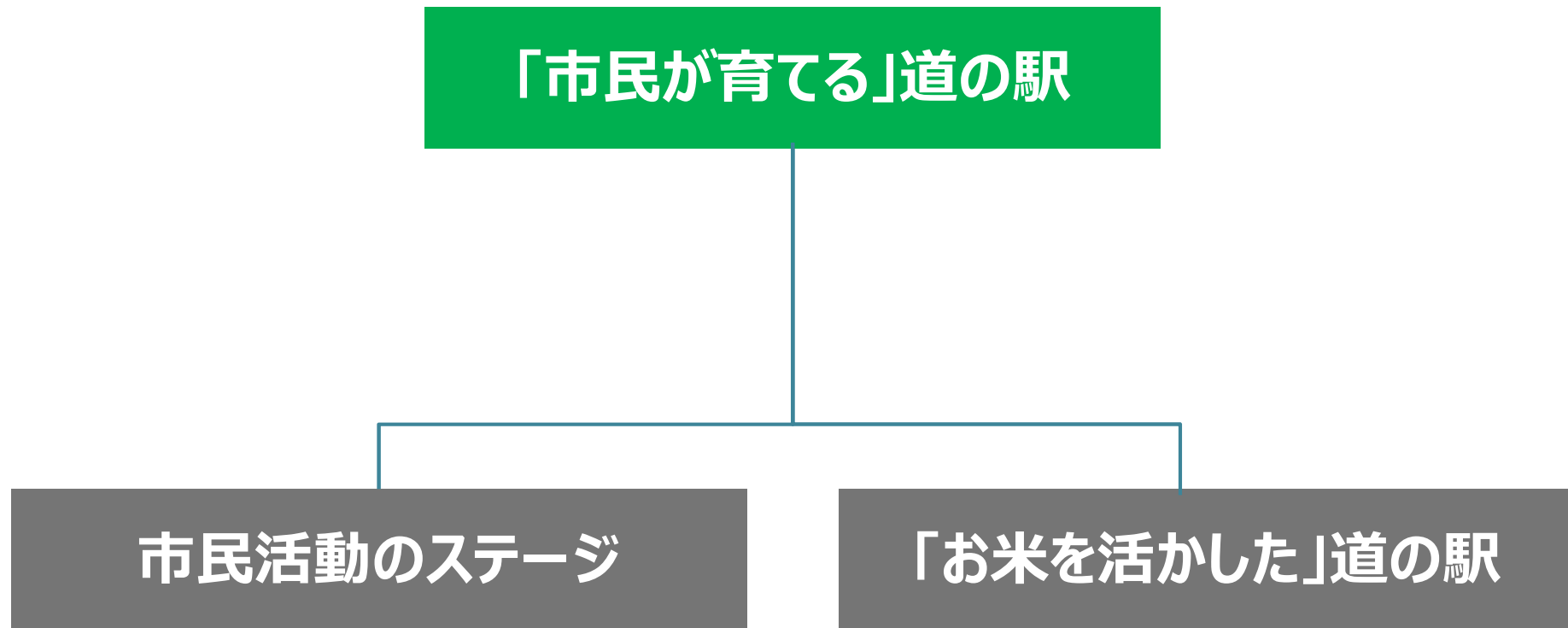
日本の魅力の
再認識

オリンピック開催やインバウンド施策が功を奏し空前の日本ブームが到来
⇒「和食」、「日本酒」、「日本の里山・原風景」、「日本文化」が注目。

筑西市「道の駅」 キーワード



筑西市「道の駅」 コンセプト



「市民が育てる」道の駅

地域住民の交流や防災の機能を備えた地域の拠点として、「地域交流」「地域の元気づくり」の道の駅として出発。

第1段階

地域ブランドの
創出と発信

“地域交流・地域の元気づくり”
「道の駅」

6次化
の拠点

地元農家

地元企業

市民

大学

地産
地消

地域
交流

防災

- ・観光資源
- ・ヒット商品
- ・顧客
- ・産物、商品
- ・市民コミュニティ
- ・事業ノウハウ
- ・おもてなし
マインド

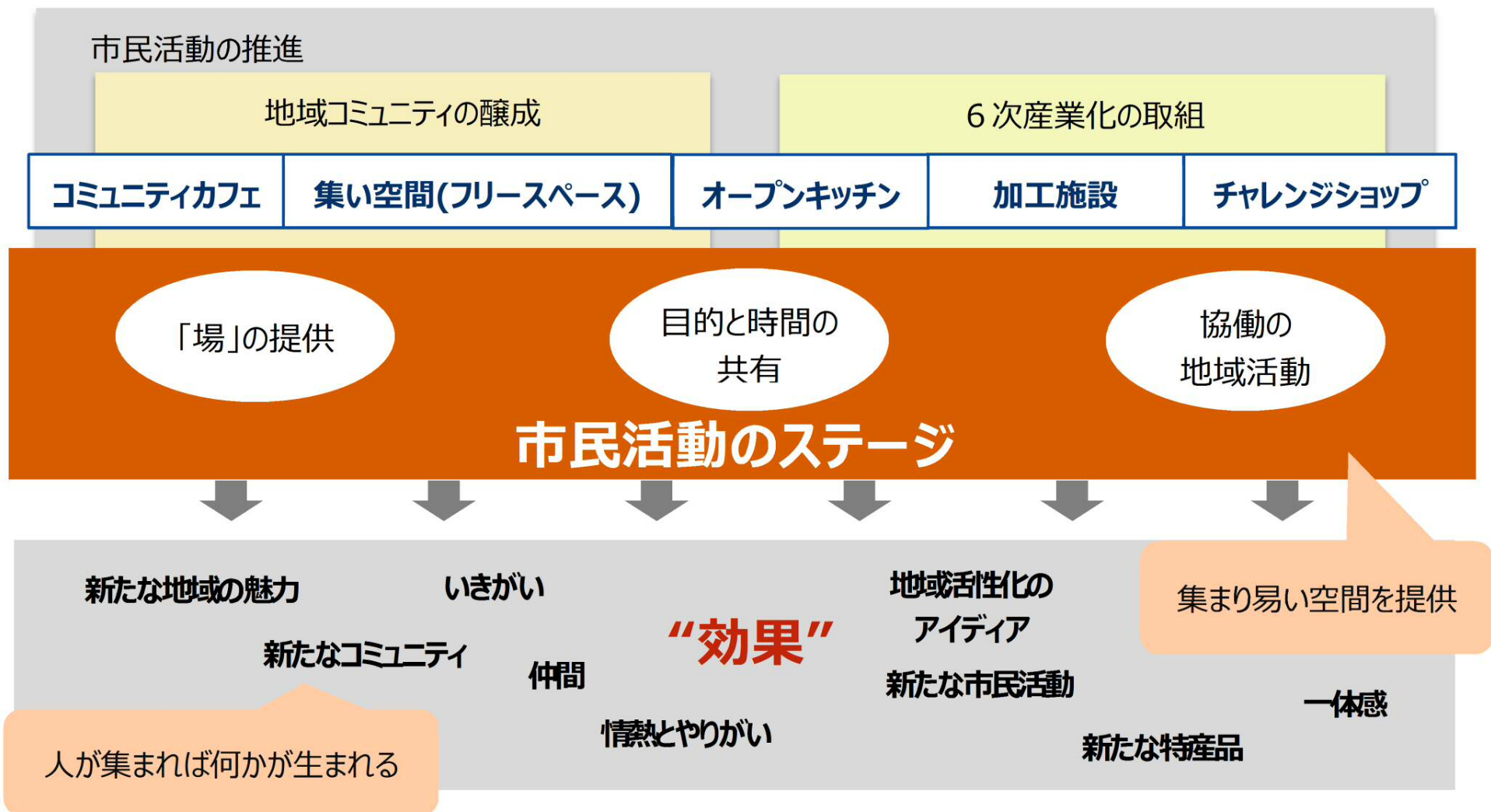
第2段階

“筑西観光の入り口” “筑西市の魅力PR拠点”
「道の駅」へ

道の駅自らが地域ブランドを創出し観光客を呼び込む拠点となる「筑西観光の入り口」「筑西市の魅力PR拠点」へと成長することを目指す。

市民活動のステージとなる道の駅

- 市民の活動をサポートする「場」
- 筑西市の「農業」「文化」を核とした発想と創出とPRの「場」
- 4地区（下館、関城、明野、協和）の中心拠点として、市民が自然とあつまる交流の「場」



「お米を活かした」道の駅

筑西市が誇るお米の魅力を「売り」にした道の駅



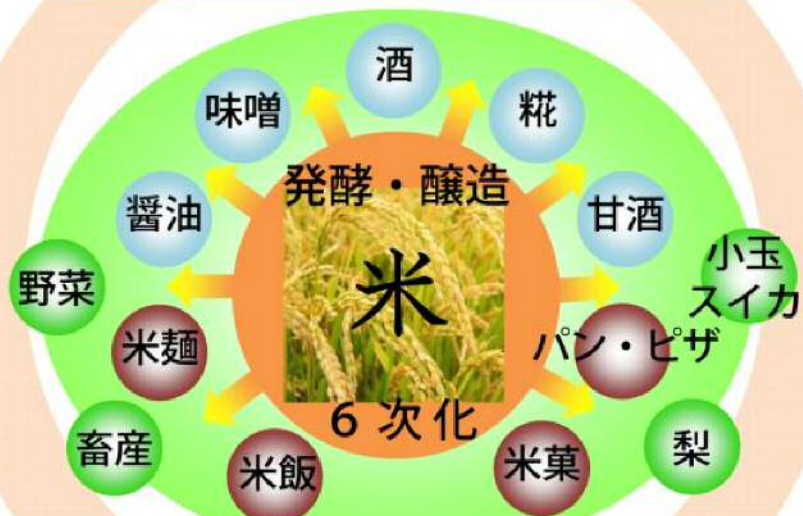
全国トップクラス

和食ブーム

筑西市が誇る特産品

お米が見直されている

お米のポテンシャルは高い



お米のポテンシャル

美容・健康効果

多様な加工商品

日本の主食

多様な利活用

環境・景観保全

野菜との親和性◎

「和食」文化への注目

農業体験

新商品の開発

食育

イベントの開催

生涯学習

食文化

健康